

横浜市立 西富岡小学校 令和 3 年度版 中期学校経営方針 (令和元～3年度)

学校教育目標	自進力！西富 ～実感・共感・主体性～ 【実感】・体験的な活動の充実を図り、実感を伴った理解につながる学びを目指します。(知)・自分とつながる様々な人とかかわることで、自分のよさを実感する力を高めます。(徳) 【共感】・授業の中で互いの意見を認め合いながら学び、そのよさに気付こうとする態度を育てます。(知) ・縦割り活動を推進し自分や相手のよさを認め合える態度を育てます。(徳) 【主体性】・集団の中で規律ある生活をしようとする態度を育てます。(体) ・様々な人やものに自分から進んでかかわり、それらを大切にしようとする態度を育てます。(公) ・学んだことを実生活に進んで生かそうとする態度を育てます。(開)				
	創立 49 周年	学校長 黒田由希子	副校長 山田正治	2 学期制	一般学級：18 個別支援学級：3
学校概要	児童生徒数： 592 人 主な関係校： 富岡中、能見台小、能見台南小、富岡小、さわの里小				

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
実感的に理解する力 他の立場を共感的に理解する力 主体的に物事に取り組む力	富岡中学校 富岡小学校 西富岡小学校 能見台小学校 能見台南小学校	「TWO YOU」優・「自己にも他者にも思いやりのある子」 勇・「未来を見すえ、一步踏み出し、表現できる子」 富岡中ブロック自分づくり教育を推進する。 合同授業研究や土曜参観を通じて、教務主任、児童生徒指導専任、養護教諭による相互評価を確実に進行。 子ども像を共有し、情報共有を図りながら生徒指導上の問題や学力不振を改善する。

中期取組目標	<ol style="list-style-type: none"> ①生活、社会科、生活単元等の学習を通して、まちの自然や社会を具体的に見つめ、関わろうとする姿勢を育てる。 ②地域の方々との積極的なかかわりを通して、自己有用感をもって活動に取り組めるようにする。 ③具体的な実践としてまちの清掃活動に取り組む。その活動の中でまちの方々との積極的なかかわりを形作っていく。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	○社会科・生活科を重点教科として取り上げ、主体的・対話的で深い学びの実現を図る。①すべての子どもたちが互いに学び合う学習集団作り②討論などの対話的な学びの重視③問題解決的な学習の重視④学んだことの価値に気付くメタ認知力の育成⑤教科の枠を超えて学びを創る態度の育成
豊かな心	①全教育活動を通して、道徳教育の充実を図る。②たて割り集団活動での各学年のねらいの明確化や内容の充実を図り活動することで、主体性、思いやりの心を育てながら自己有用感を高める。③友達や地域とのつながりを大切に、自ら進んであいさつができるようにする。
健やかな体	①西富タイムを各学級ごとに計画的に実施し、体力の向上を図る。 ②縄跳び週間などのスポーツ週間を通し、季節に応じた体力向上の取組を実施する。
共感的理解	①授業の中で、異なる意見を認め合い、相手の良さを見つけることのできる関係性の育成②児童が自分の役割に責任と自覚をもって取り組むたてわり活動③児童がよりよい学校を目指して自ら活動計画を立て、実践できる児童会活動を行います。
特別支援教育	①個別の支援計画・指導計画に基づき、子ども一人ひとりの状況に応じた支援体制・学習環境を作り継続的な指導を進める。
安全管理	①発達段階に応じた危機管理教室や防災・防犯訓練、交通安全教室等の体験活動を通して児童の危機管理能力を高める。
地域連携	①開かれた教育課程をめざし、まちと共に歩む学校づくり懇話会を中心として、新しく設定した教育目標を周知、連携の在り方を探る。②学校と地域との情報共有、理解を図る。③学校運営協議会の設立に向けた基盤づくりに取り組む。
保健管理	①学校保健委員会を中心として、児童自らが自分の体に関心を持ち、よりよい生活をめざすための啓発活動②日常の保健学習の充実③日常の健康観察や疾病予防、児童の自己健康管理能力向上のための取組
いじめへの対応	①児童支援専任を中心に組織として子ども一人ひとりを大切に児童指導を進める。特に毎月職員会議内で定期的に子どもの情報の共有化を図る。 ②アンケートを活用しながら日頃の児童の見取りを十分にすることでいじめ等の未然防止に努める。
人材育成・組織運営(働き方改革)	①メンターチームを組織し、主幹教諭やミドルリーダーの助言のもと、月1回の研修を行う。②会議をペーパーレス化、ミライムや電子申請システムの活用、外部委託などを行い、業務の精選、効率化を図る。③週に1回教務会を行い、学校リーダーが全体を見通して学校運営に参画していく場とする。
担当	重点研推進委員会+A部会
担当	道徳部+B部会
担当	体育部+B部会
担当	重点研推進委員会
担当	特別支援委員会
担当	B部会
担当	教務部
担当	保健部
担当	いじめ防止委員会
担当	教務部+メンターチーム